



平成29年7月20日

各 位

会社名 日本 P C サービス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 家喜 信行  
 (コード番号:6025 名証セントレックス)  
 問合せ先 取締役管理部長 山本 由貴  
 (TEL 06-6734-7722)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年7月20日開催の取締役会において、平成28年10月14日に開示した平成29年8月期（平成28年9月1日～平成29年8月31日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,741	34	31	23	17.54
今回修正予想（B）	3,627	△26	△25	△27	△20.58
増減額（B－A）	△113	△60	△56	△51	－
増減率（％）	△3.0	－	－	－	－
（参考）前期実績 （平成28年8月期）	3,925	△79	△75	△187	△141.54

#### 2. 修正の理由

連結売上高につきましては、当社の主要事業であるフィールドサポート事業において、当社子会社であるテクニカル九州株式会社（以下「テクニカル九州」という）の売上高が当初の見込みより納品件数が確保できていないため減少しております。

上記の結果、テクニカル九州において売上原価率が上昇し、同社の売上総利益及び営業利益が減少し、連結営業損失を計上する見込みであります。そのため、テクニカル九州においては一部コスト削減を実施し、さらに代表取締役を変更し、1件当たり単価の増加と家電修理の全国展開化に注力しておりますが、現在のところ改善目処が不明確であります。

一方、連結経常利益につきましては、過年度に貸倒処理をいたしました債権について回収ができたこと等で営業外収益が増加する見込みであることや、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社

保有の投資有価証券について一部売却することを、本日取締役会で決議をいたしましたので、当第4四半期会計期間中に投資有価証券売却益が計上される見込みであります。しかしながら、上記利益は、連結営業損失を上回ることにはできないと判断したため、連結経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなり、前回発表予想を修正しました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上